

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
宇佐市	高森地区	令和3年3月22日	

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	130.21ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	78.50ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計(法人は除く)	33.70ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	0.00ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	22.80ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	2.40ha
(備考)	

2 対象地区の課題

高森地区については、認定農業者の個人等が主に地域の担い手となっているが、今後は担い手の高齢化が進むため、後継者をどのように確保するかが課題である。また、農地拡大を希望する中心経営体が少ないので、今後農業をリタイアする人が増えた場合にどの経営体に集積していくかを地区で検討する必要がある。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

高森地区の農地利用は基本的には、認定農業者の個人等に集約化している。今後も、高森地区の農地は人・農地プランに記載されている中心経営体に地権者と耕作者と協議しながら集積していく。

中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	備考
認農	A	米・麦・大豆	6.3 ha	米・麦・大豆	6.3 ha	
認農	B	米・麦・大豆	16.4 ha	米・麦・大豆	16.4 ha	
認農	C	米・麦	0.7 ha	米・麦	2.0 ha	
認農	D	米・麦	7.0 ha	米・麦	7.0 ha	
認農	E	米・麦・大豆	10.8 ha	米・麦・大豆	10.8 ha	
認農	F	米・麦・大豆	8.9 ha	米・麦・大豆	10.0 ha	
認農	G	米	0.8 ha	米	0.8 ha	
認農法	H	米・麦	2.1 ha	米・麦	2.1 ha	
	I	米・麦	4.3 ha	米・麦	4.3 ha	
	J	米	2.1 ha	米	2.1 ha	
	K	米	4.2 ha	米	4.2 ha	
	L	米	2.7 ha	米	2.7 ha	
	M	米	1.9 ha	米	1.9 ha	
計	13人		68.2 ha		70.6 ha	

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

農地の貸付け等の意向

アンケート結果では、農地の貸付意向の土地はないとのこと。今後については、高齢化により農業をリタイアする方が増えてくると思われるので、地区の総会等で農地の貸付け意向の確認を行う。

農地中間管理機構の活用方針

高森地区は、将来の経営農地の集約化を目指し、農地の利用権設定をおこなう際には、農地中間管理機構を活用していく。

基盤整備への取組方針

高森地区としては、今後、必要が生じれば地区で基盤整備へ取り組むかどうか協議を行っていく。

新規・特産化作物の導入方針

米、麦等の土地利用型作物が主になっているが、今後、必要であれば、他の収益性の高い園芸作目の導入についても検討する。